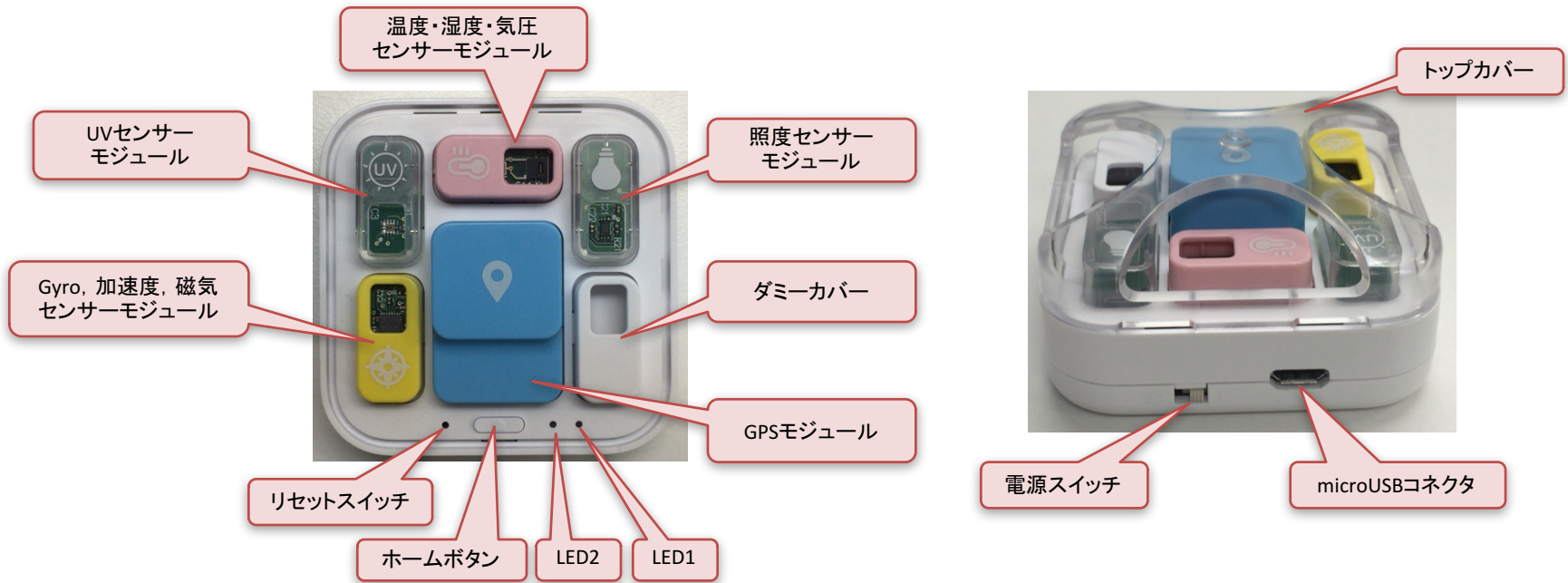


EveryStamp設定マニュアル

2016/06/09	第4版	FW:Ver.1.0.0	対応
2016/04/14	第3版	FW:Ver.0.9.104	対応
2016/02/19	第2版	FW:Ver.0.9.15	対応
2015/12/28	第1版	FW:Ver.0.9.00	対応

1-1. 各部の名称 (Full Packの例)



本体のmicroUSBコネクタにUSB ACアダプタ(*1)から付属のUSB電源ケーブルを使って電源を接続します。
 電源スイッチは右側(I)でオン、左側(O)でオフになります。
 電源スイッチのオン/オフに関係なく内蔵のLi-ionバッテリーに充電ができます。
 充電中はLED2が点灯、充電が完了すると消灯します。

(*1)USB ACアダプタは電圧5V±10%,電流容量500mA以上のものを使用してください。

EveryStampは内蔵バッテリーのみでも動作可能ですが、長時間使用する場合はUSB ACアダプタから電源を供給しながらご使用ください。

1-2. 状態遷移図

1. 初期状態(工場出荷状態)

設定が全て初期値になっています。電源を投入するとLED1が点灯して設定モードに移行します。

2. 設定モード

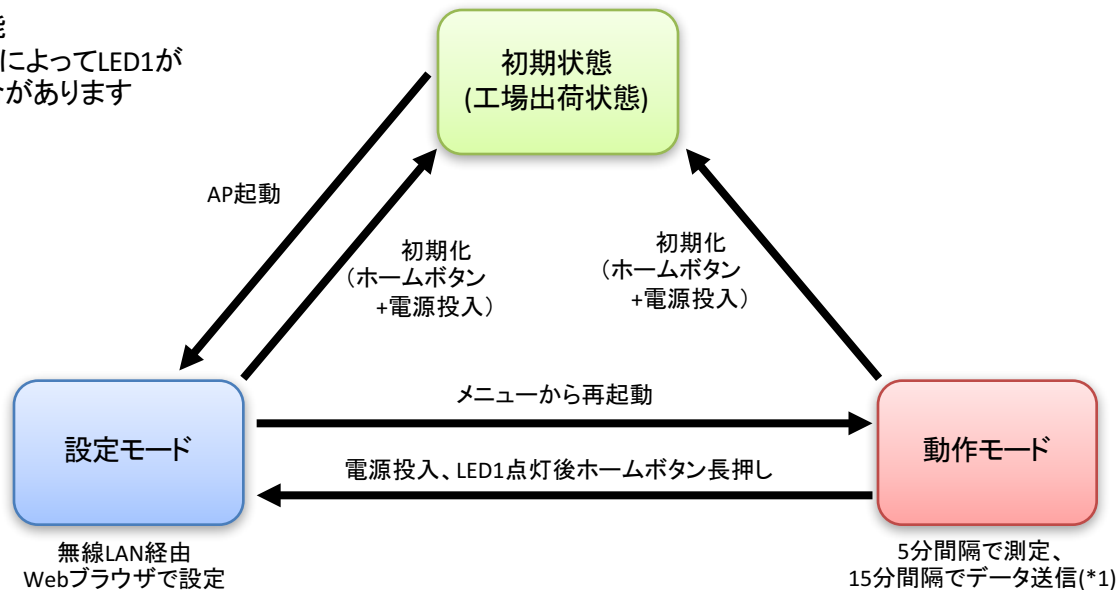
無線LAN AP(アクセスポイント)として動作します。SmartPhone または PCのWebブラウザによりネットワーク情報やEverySenseサーバのユーザ情報など必要な項目を設定します。設定モード時LED1は点灯します。必要な項目を設定後、メニューから再起動で動作モードになります。

3. 動作モード

動作モード時は5分ごとにセンサーの値を測定して、15分ごとに測定したデータをサーバに送信します(*1)。データ測定時およびデータ送信時にLED1が点灯します(*2)。動作モード時はEveryStampのAP動作は停止しています。設定モードに移行する場合は電源投入後、LED1が点灯してからホームボタンを長押ししてLED1が消灯したら離してください。

*1: 設定により変更可能

*2: 取り付けのセンサーによってLED1が点灯したままの場合があります



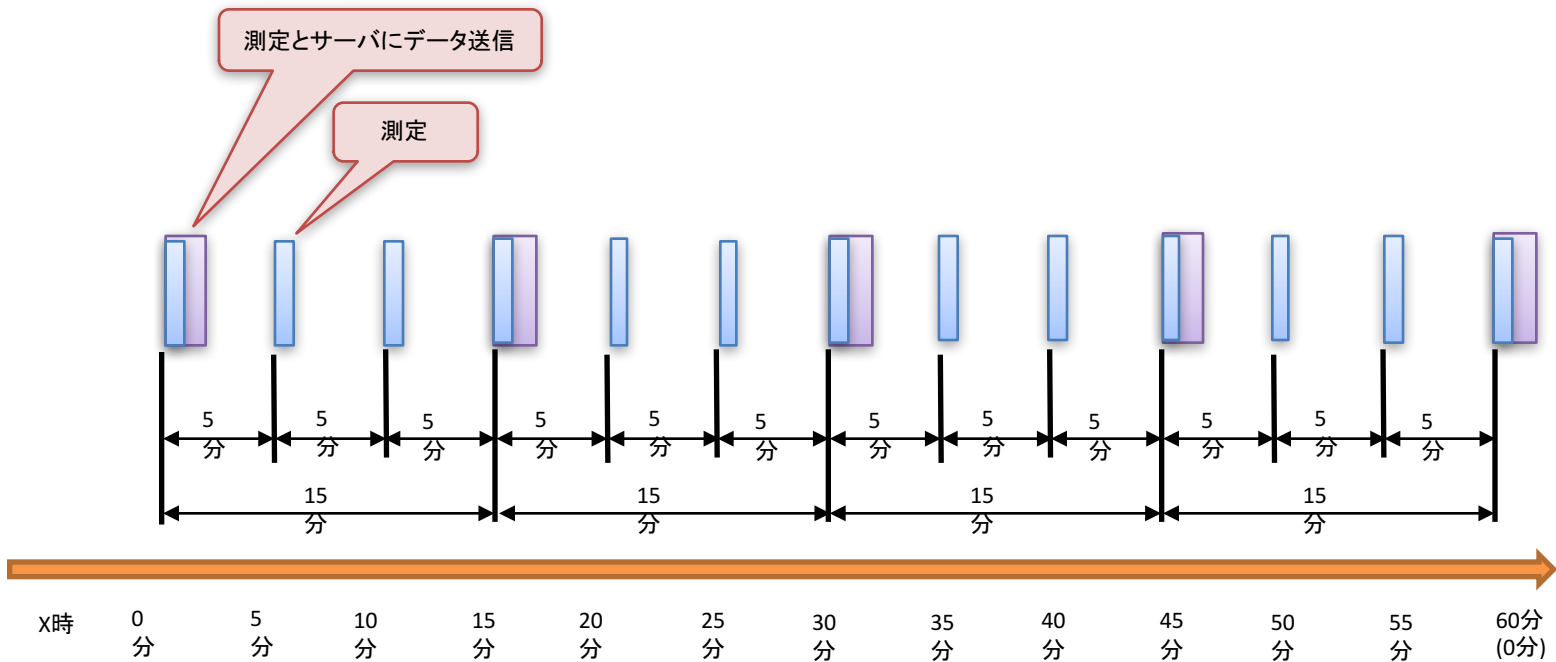
1-3. 動作モードでの測定とデータ送信タイミング

動作モードでは5分ごとにセンサーのデータを収集して、15分ごとにまとめてサーバにデータを送信します(*1)。
測定中、データ送信中以外はLED1が消灯(CPUが省電力モード)します。

EverySenseサーバやEveryStamp Monitor(*2)で表示されるデータはデータ送定のタイミング以降に反映されます。

*1:設定により変更可能

*2:iPhoneまたはAndroid用のアプリ(APP Store または Google Playからダウンロード可能)



2. 事前準備

EverySensesシステムやEveryStamp Monitorを利用するため、ログイン名とパスワードが必要になります。
EverySenseサーバにユーザー登録されていない場合は、次のURLでユーザー登録をしてログイン名とパスワードを取得してください。

EverySenseサーバのURL <http://service.every-sense.com/>



クリックしてユーザー登録

3. EveryStamp設定

3-1. EveryStampにスマートフォンまたはPCを接続

EveryStampの電源を投入するとAP(アクセスポイント)としてスマートフォンやPCから無線LANで接続することができます(*1)。EveryStampの初期SSID: everystampXXXX(XXXXは任意の数字)を選んで、初期パスワード: everystampを入力してください。(初期SSIDは製品のシリアルナンバーとは異なります)

(*1)設定モードの時のみAPとして無線LAN接続できます。



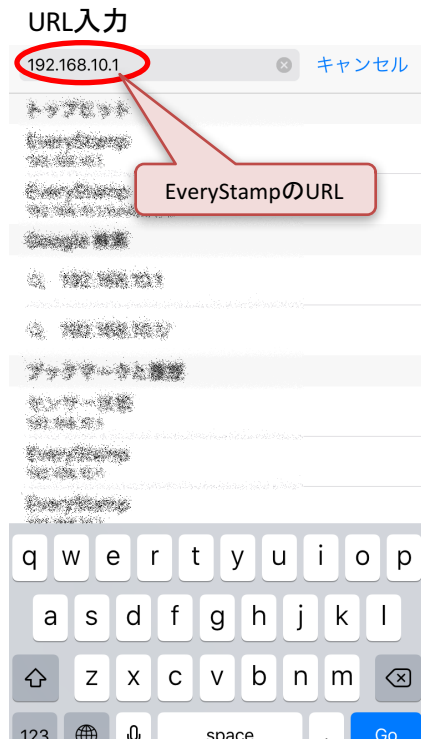
AP
SSID:everystampXXX
Pass:everystamp



SmartPhone or PC

3-2. EveryStamp 設定画面の表示

接続したSmartPhoneまたはPCのWebブラウザで <http://everystamp.local> または <http://192.168.10.1> を指定するとEveryStampの設定画面が表示されます。右上のメニューボタンをタップ(クリック)すると設定メニューが表示されます。



3-3. 無線LAN接続設定

無線LAN設定でEveryStampを接続する無線LAN AP(お客様のネットワーク)の情報を設定します。

SSIDに表示されたリストから接続するAPのSSIDを選択します。

パスワードを入力して接続をクリックします。(注1)

APとの接続が成功すると左側に緑のレ印が表示されます。(注2)

無線LAN設定

SSID

パスワード

エラー表示の場合 再読み込み

EveryStampを接続する APのSSID

EveryStampを接続する APのパスワード

無線LAN設定

無線LAN

Internet

AP

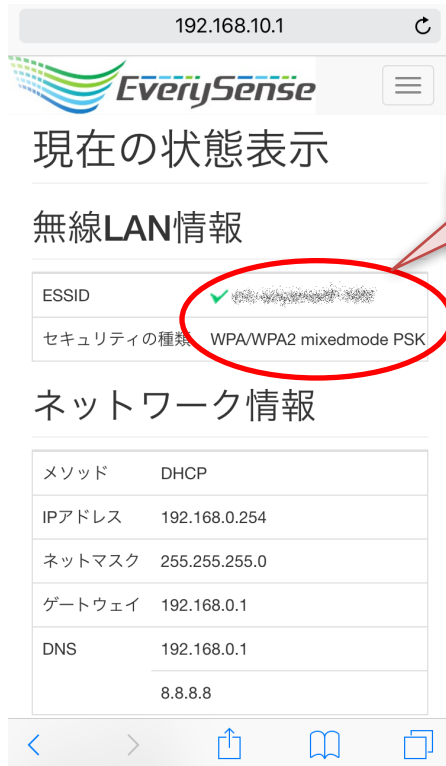
注1:[接続]をクリックしてブラウザがエラー表示になった場合は、ブラウザを再読み込みしてください。

注2:「✓」が表示されない場合には、APとの無線LAN接続ができていません。

3-4. 状態でファームウェアバージョンとネット接続の確認。

ESSIDの横に「✓」が表示されていることを確認してください。
NTPサーバーに接続されていれば、時刻が正しく校正されます。
状態表示画面をスクロールすると、最下行にファームウェアのバージョンを確認してください。

NTP情報の最終更新時刻で日付、時間が現在の時刻に近ければインターネットに接続できていると判断できます。
(表示はUTCなので日本時間から9時間引いた時間になります)



EveryStampが接続している無線LAN APのSSIDと認証方式



最後にNTPサーバと同期した日時

無線LANのMACアドレス

ファームウェアのバージョンとビルドした日時

注意:最新ファームウェアのリリース情報は次のURLでご確認ください。

<http://firmware.every-sense.com/everystamp/>

ファームウェアバージョンが古い場合には、「4-5 ファームアップデート」の手順でアップデートしてください。

3-5. EveryStamp基本設定

計測間隔とデータ送信間隔が設定できます。



EveryStamp 基本設定

動作時間設定

計測間隔や送信間隔はファームの設定を一致させて下さい。

計測間隔(秒)

300

センサーの測定間隔

60(秒)以上を指定して下さい。

送信間隔(秒)

900

サーバにデータを
送信する間隔

120(秒)以上を指定して下さい。

更新

SSID(EveryStampのSSID)、APパスワード
(EveryStampに接続するためのパスワード)を
変更して更新をタップしてください。



EveryStamp 基本設定

EveryStamp AP設定

次回起動の時に有効になります

SSID

ES2005

APのSSID

APパスワード

everystamp

APのパスワード
(6文字以上の英数字)

更新

3-6. EveryStamp基本設定

EverySenseサーバにデバイス登録するための設定です。

EverySenseServer設定

ログイン名

EverySense登録ユーザー名

パスワード

EverySense登録ユーザーのパスワード

デバイスUUID

空白にしておくとサーバから自動的にUUIDが設定されます(*1)

新規登録の場合は、空白にすると自動設定され、登録されたデバイスの場合は、そのUUIDを入れて下さい。

デバイス名

EverySenseサーバに登録されるデバイス名

更新

ポスト先、ファームアップデートのURLです。

変更すると正常に動作しなくなる可能性がありますので変更しないでください。

EverySenseServer開発者用設定

これは開発者向けのオプションです。フィールドの意味がわからない人はいじらないで下さい。

ポスト先サーバアドレス

アップデートパス

更新

(*1)EverySenseサーバにログイン、ファームオーナー画面からデバイス登録して取得したUUIDを入力することも可能ですが、初めて登録する場合は空白にしてEverySenseサーバから自動的に取得する方が簡単です。

3-7. 再起動(動作モードに移行)

動作モード中は、APモードとして接続できなくなります。



EveryStampの設定が完了したら動作モードへ移行のためメニューから再起動を選択してください(*1)。

(*1)EveryStamp本体の電源Off/Onでは動作モードに移行しません。

LED1がいったん消灯してから、しばらく点灯して消灯します。
動作モードでは約5分ごとにLED1が数十秒点灯(センサーのデータを収集)して消灯(CPUスリープ)が繰り返されます。

設定モードに戻すにはEveryStampを起動させてLED1が点灯してからホームボタンをLED1が消灯するまで押してください(*2)。
ホームボタンを離してからLED1が点灯すると設定モードで起動します。

(*2)LED1が点灯する前にホームボタンを押すと工場出荷状態になります。

4. 参考資料

EveryStampが設定モードの時にWebブラウザ経由で設定または表示できる内容です。

4-1. メニューの表示

右上のメニューボタンをタップするとメニュー選択リストが表示されます。



メニューボタン

状態: 状態を表示します。

センサー状態: センサーの値を表示します。

無線LAN接続設定: 接続する無線LANの設定をします。

ネットワーク設定: ネットワーク情報の設定をします。

EveryStamp基本設定: 基本的な情報を設定します。

再起動: 再起動して動作モードに移行します。

ファームアップデート: オンラインでファームウェアのアップデートを行います。

4-2. 状態

EveryStampが無線LAN APIに接続されているか、現在インストールされているファームウェアのバージョンなどを確認することができます。



192.168.10.1

EverySense

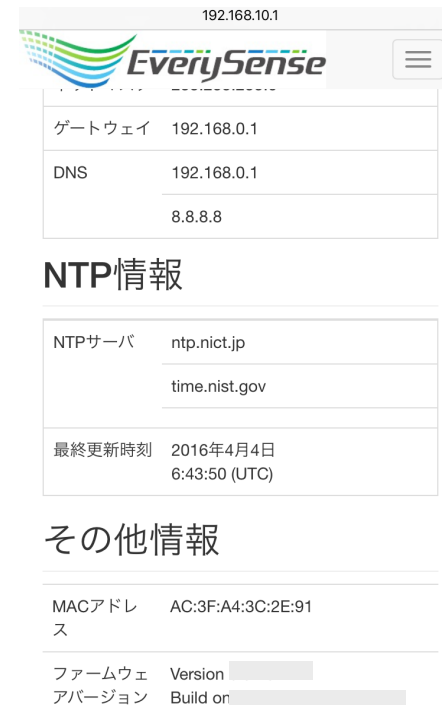
現在の状態表示

無線LAN情報

ESSID	✓ [SSID名]
セキュリティの種類	WPA/WPA2 mixedmode PSK

ネットワーク情報

メソッド	DHCP
IPアドレス	192.168.0.254
ネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1
DNS	192.168.0.1 8.8.8.8



192.168.10.1

EverySense

ゲートウェイ	192.168.0.1
DNS	192.168.0.1 8.8.8.8

NTP情報

NTPサーバ	ntp.nict.jp time.nist.gov
最終更新時刻	2016年4月4日 6:43:50 (UTC)

その他情報

MACアドレス	AC:3F:A4:3C:2E:91
ファームウェアバージョン	Version [バージョン] Build on [ビルド日時]

4-3. センサーの状態

EveryStampに取り付けられているセンサーの値を確認することができます。
(GPSの値は表示できません)

(注)設定モード時はCPUが連続動作していますので温度、湿度などの値が
実際の値から外れることがあります。



センサーの状態

名前(sensor_name)	値	
BH1750		照度センサー
SHT20_Hum		湿度センサー
SHT20_Temp		照度センサー
BMP-280_Barometric		気圧センサー
BMP-280_Temp		温度(気圧センサー補正用)
MPU9250_Accel	0.48063602,0.01197100,9.79348182	加速度センサー
MPU9250_Gyro	-0.7476806,2.35748291,-1.3885498	ジャイロセンサー
MPU9250_Mag	18416,28461,-9401	磁力センサー
GSU125_Location		GPS
Si1145_UV		UVセンサー
EnvironmentalSound		環境音センサー
Switch		人感センサー

スマートフォンなどで値が画面に表示しきれない場合、
横スクロールするとセンサーの値を見ることができます。

センサーの状態

	単位
262.50	lx
48.38	%RH
29.22	degree Celsius
999.19	hPa
29.59	degree Celsius
48063602,0.01197100,9.79348182	m/s^2
-0.7476806,2.35748291,-1.3885498	deg/sec
18416,28461,-9401	nT
sensor exist	
0.15	
Not in use	
Not in use	

4-4. ネットワーク設定

通常は変更する必要はありません

192.168.10.1

EverySense

ネットワーク設定

IP情報

メソッド

DHCP 固定割当

更新

NTPサーバ

NTPサーバ

ntp.nict.jp

time.nist.gov

NTPサーバ3

< > [Share] [Bookmarks] [Tabs]

EveryStampのIPアドレスを固定にする場合は [固定割当]に変更します。通常はDHCP(自動取得)でご使用ください。

EveryStampがネットワーク経路で時刻合わせをするNTPサーバを指定します。通常は変更しないでください。

固定割当ての場合はネットワーク環境を適切に設定する必要があります。

192.168.10.1

EverySense

ネットワーク設定

IP情報

メソッド

DHCP 固定割当

IPアドレス

192.168.0.254

ネットマスク

255.255.255.0

ゲートウェイ

192.168.0.1

DNS

192.168.0.1

8.8.8.8

更新

適切な値を設定してください。

4-5. ファームアップデート

ファームアップデートを選択するとネットワーク経由で最新のファームウェアにアップデートできます。



ファームアップデートを開始すると、LED1がいったん消灯してから、しばらく点灯(ネットワーク環境にもよりますが数分間)して消灯、点灯(再起動)します。再起動後、メニューの状態にあるファームウェアバージョンで確認することができます。

(注1)EveryStampの無線LAN設定が完了しインターネットに接続できる必要があります。

(注2)ファームアップデート中は本体の電源を切らないようにしてください。

動作モード中は1日に1回、ファームウェアのアップデート有無を確認して、更新の必要がある場合は自動でダウンロードしてアップデートします。
(自動アップデートではEveryStampの設定や再起動などは必要ありません)

最新ファームウェアのリリース情報は次のURLでご確認できます。
<http://firmware.every-sense.com/everystamp/>

4-6. 工場出荷状態

次のいずれかの方法で工場出荷状態に戻すことができます。
(設定モード、動作モードどちらの状態でも実行できます)

1. ホームボタンを押したまま電源を投入すると工場出荷状態になります。
(LED1が点灯したらホームボタンを離してください)
2. 電源投入時はLED1が点灯した状態で、ホームボタンを押したままリセットSWを押すと工場出荷状態になります。
(LED1がいったん消灯してから点灯するまでホームボタンを押したままにしてください)

(注1)工場出荷状態にすると設定した項目すべてが初期値になります。
(注2)工場出荷状態に戻してもファームウェアのバージョンは戻りません。

5. EverySenseサーバ側で必要なデバイスの設定

EverySenseサーバのファームオーナーで、デバイス追加したEveryStampを確認すると設定が未完了になっています。デバイス名をクリックして、デバイス詳細画面からEveryStampに取り付けられているセンサーのON/OFF(有効/無効)、設置場所種別を設定してください。(取り付けられている全てのセンサーで設定する必要があります)

デバイス追加

デバイスクラス: EveryStamp
バージョン: 3
デバイス名: EveryStamp

追加

デバイス名	デバイスクラス	バージョン	デバイスUUID	設定	状態
ES2005	EveryStamp	3	382705e311-175aa-413ac-a53c9-69a2c2752885	未設定	有効

デバイス名をクリックして設定を完了させる

デバイス自動登録されても未設定のまま

デバイス詳細

デバイスクラス: EveryStamp
バージョン: 3
デバイス名: ES2005
デバイスUUID: 382705e311-175aa-413ac-a53c9-69a2c2752885
状態: ● 有効 ○ 無効
設置場所種別: 移動

設置場所種別: 移動

センサーが取り付けられていればON、なければOFFにします

設置場所種別を未設定から移動または固定に変更